



えんどう ひであき
遠藤 英明 議員
(蒼天)

市立病院の経営実態と、全国公立病院の赤字経営の現況に対する考えと今後の対策について

問 最近5年間の病院事業会計医業収支を伺う。

部長 平成26～29年度の医業収支は毎年マイナスであり、この要因としては、整形外科、泌尿器科の診療体制の縮小による影響と診療報酬のマイナス改定が考えられる。

問 医業収益に対する人件費の割合と最近の動向をどのように捉え、今後対処するのか。

部長 人件費は毎年増加、平成29年度は60.3%、この要因は、令和元年10月に再開する整形外科病棟に配置する看護師等を、前倒しで採用したことによる人件費増大があげられる。

問 保育所運営の実態と費用対効果を伺う。

部長 平成30年度の延べ利用児童は125人、保育士他7人の職員で対応。経費は約2000万円、

保育料は270万円、1730万円がマイナスである。医師を含めた医療職員の確保のためにも必要経費と考える。

問 市立病院規模380床に必要な人員体制は整ったのか。

病院長 8病棟体制に必要な人員は確保できたが、退職等により看護師不足の状況は続く。

問 病院経営改善計画Vol.Ⅱの経緯経過を伺う。

病院長 計画の中で最重要課題である医師確保対策は整形外科常勤医師4人体制を確保。そのほか経費節減や経営戦略会議を立ち上げ収益改善、経費削減の協議を行い、他院の加算取得状況を比較し、加算の早期取得に取り組む。

市内茶園経営の現状と将来の展望について

問 市内本年の生産高と金額及び杉田地区の産業振興地区へのその後の取り組みを伺う。

部長 1番茶の生産量は11万5000kg、生産額は9170万円であり、前年比82.5%。

市長 規制が厳しい地区であるが、市長会を通して規制緩和に向けて運動していく。



もちつき のり お
望月 則男 議員
(富岳会)

新たな学習機会に対しての市独自の政策の今後について

問 学びに対する補助は実施しているのか。

教育長 英検などの検定料に関する金銭的な部分での補助はしていない。学習に係る金銭的な支援は、保護者の負担を軽減する方策の一つと考えられる。今後の動向を見て考えていきたい。

問 新たな教科に対して、「富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市」となるために独自のカリキュラムは検討されているのか。

教育長 今年度プログラミング教育研究委員会を立ち上げ、英語教育では平成28年度からいくつかの委員会を立ち上げ英語教育推進を目指して計画的に取り組んでいる。

問 市長にとって富士宮市の目指す国際文化都市のイメージを伺う。

市長 富士山を中心に考えたグローバルに対応したまちづくりを意識していきたいという意味で国際という言葉を使っている。

子どもふれあい広場について

問 先日開設した子どもふれあい広場の利用状況について。

部長 芝川子どもふれあい広場は開館して13日間で158人と、予想を上回る利用状況で読み聞かせ会などを定期的で開催し利用者増加を図る。

問 芝川公民館の子どもふれあい広場は最適な場所かどうか。

部長 幅広く利用できる空間として、家庭教育に関する学習機会及び学習情報の提供という役割にも合致し、芝川地区の中心であり、学校に近接している立地であることから、適地であると考え整備した。

問 芝川地区では一部今までのように使用したいという意見があるがいかがか。

市長 児童館の閉鎖に伴い子ども達の居場所作りには是非、大人の方は一步譲り公民館内の別室を使うなどの協力をしていただきたい。